

JEITA 三次元CAD情報標準化セミナー 2016 プログラム
 ものづくりプロセス改革シンポジウム
 - 幾何公差で拓く新しい品質保証、-

大阪会場 2016年10月21日(金)

アジェンダ	発表者	時間帯	時間	講演内容
会場案内	高橋委員	13:00-13:05	5	
1. 挨拶およびJEITA 三次元CAD情報標準化専門委員会の活動紹介	相馬委員長	13:05-13:20	15	・開会あいさつ ・委員会の活動趣旨と振り返り
2. 電機精密産業界の課題 京都試作ネット様講演	活用分科会 重田チーフ	13:20-14:20	60	電機精密業界の課題(図面運用を中心としたものづくりの高度化(高効率化/高品質化)を解決する為には、①寸法公差方式から幾何公差方式による一義的な形状/公差域解釈の獲得、②寸法測定による品質保証 から 工程管理/工程保証による品質保証への変革 が重要になる。 今回は、その必要性も含めた当専門委員会の考え方及び、京都試作ネット様との共同活動の内容について説明/紹介する。
3. 標準化戦略について タイトル:ISO GPS規格のねらいとJIS動向	関東学院大学 理工学部 金田教授	14:20-15:20	60	タイトル:ISO GPS規格のねらいとJIS動向 内容:国際標準化機構(ISO)の概要、技術製品文書情報(TPD)を扱うTC10および製品の幾何特性仕様(GPS)を扱うTC213の活動を紹介する。特にGPS規格の概念・必要性・ねらいを説明する。また、解釈があいまいになる可能性を秘めている寸法公差方式とあいまいさを生じさせない幾何公差方式の差異とともに、最近制定・改正されたいくつかの日本工業規格の概要を説明する。さらに、今後のGPS関連JIS規格開発計画についても述べる。
(休憩)		15:20-15:30	10	
4. 専門委員会の取り組み 想図研 小池代表 講演	標準化分科会 武田チーフ 想図研 小池代表	15:30-16:30	60	・幾何公差方式推進に向け、業界の共通課題対応として、下記項目の取組み状況を紹介する。 ① 幾何公差検証・測定例集(簡易測定及びCMM測定 30例)の作成 ② 幾何公差3D表記の推奨ルール策定 他 ・講演タイトル:幾何公差方式における 新しい一括指示方法の提案 幾何公差の個別指示、一括指示を上手く組み合わせることで、的確で効率的な指示を実現する 新しい公差指示方式を提案する。
5. 先進企業様の取り組み事例	富士ゼロックス株式会社	16:30-17:00	30	電機精密業界のなかで実際に幾何公差中心の設計を実践しておられる先進企業様より事例をご紹介いただく。
6. まとめ、閉会あいさつ	藤沼副委員長	17:00-17:10	10	講演内容振り返り、閉会あいさつ

JEITA 三次元CAD情報標準化セミナー 2016 プログラム
ものづくりプロセス改革シンポジウム
- 幾何公差で拓く新しい品質保証、-

東京会場 2016年11月24日(木)

アジェンダ	発表者	時間帯	時間	講演内容
会場案内	高橋委員	12:55-13:00	5	
1. 挨拶およびJEITA 三次元CAD情報標準化専門委員会の活動紹介	相馬委員長	13:00-13:10	10	・開会あいさつ ・委員会の活動趣旨と振り返り
2. 電機精密業界の課題	活用分科会 重田チーフ	13:10-13:30	20	電機精密業界の課題(図面運用を中心としたものづくりの高度化(高効率化/高品質化)を解決する為には、①寸法公差方式から幾何公差方式による一義的な形状/公差域解釈の獲得、②寸法測定による品質保証 から 工程管理/工程保証による品質保証への変革 が重要になる。 今回は、その必要性も含めた当専門委員会の考え方及び、京都試作ネット様との共同活動の内容について説明/紹介する。
3. 標準化戦略について タイトル:ISO GPS規格のねらいとJIS動向	関東学院大学 理工学部 金田教授	13:30-14:30	60	タイトル:ISO GPS規格のねらいとJIS動向 内容:国際標準化機構(ISO)の概要、技術製品文書情報(TPD)を扱うTC10および製品の幾何特性仕様(GPS)を扱うTC213の活動を紹介します。特にGPS規格の概念・必要性・ねらいを説明する。また、解釈があいまいになる可能性を秘めている寸法公差方式とあいまいさを生じさせない幾何公差方式の差異とともに、最近制定・改正されたいくつかの日本工業規格の概要を説明する。さらに、今後のGPS関連JIS規格開発計画についても述べる。
(休憩)		14:30-14:45	15	
4. 専門委員会の取り組み 想図研 小池代表 講演	標準化分科会 武田チーフ 想図研 小池代表	14:45-15:30	45	・幾何公差方式推進に向け、業界の共通課題対応として、下記項目の取組み状況を紹介する。 ① 幾何公差検証・測定例集(簡易測定及びCMM測定 30例)の作成 ② 幾何公差3D表記の推奨ルール策定 他 ・講演タイトル:幾何公差方式における 新しい一括指示方法の提案 幾何公差の個別指示、一括指示を上手く組み合わせることで、的確で効率的な指示を実現する 新しい公差指示方式を提案する。
5. 先進企業様の取り組み事例	富士ゼロックス株式会社 ※1社調整中	15:30-16:20	50	電機精密業界のなかで実際に幾何公差中心の設計を実践しておられる先進企業様より事例をご紹介いただく。
6. パネルディスカッション (標準化活動に対する有識者による討論)		16:20-17:30	70	タイトル:ものづくりプロセス改革 - 幾何公差で拓く新しい品質保証、- 内容:パネリストに大学・研究所(産総研)及び工業会(日本ベアリング工業会、精密測定機工業会、自動車工業会)の方を招き以下の内容について最新のJIS動向とともに討論をする予定です。 ①各工業会の幾何公差への取り組みの現状と課題について ②当専門委員会の幾何公差方式推進の取り組み(特に一括公差指示方式の標準化)について
7. まとめ、閉会あいさつ	藤沼副委員長	17:30-17:35	5	講演内容振り返り、閉会あいさつ